

村の出来事

5月・6月

村内の出来事、話題をお届けします

📷のマークがついている記事は、占冠村HPの「動くしむかっぶ」で見ることができます。

しむかっぶ村民山菜市

～自然の恵みを堪能～

5月29日、「しむかっぶ村民山菜市」が道の駅自然体感しむかっぶで開かれました。占冠の山菜の販売をはじめ、天ぷらやパスタ、コロッケ、エゾシカ肉や山女魚の料理など、多くの村民・観光客は、自然の恵みを味わいました。



旬を味わう「山菜の天ぷら」は人気を集め、大行列！

「ベトナムの暮らしと食を学ぶ」食のワークショップ



5月29日、「食のワークショップ」がコミュニティプラザで行われました。講師は、ベトナムで農村支援のNPO代表を務める伊能まゆさんで、ベトナムの歴史や経済から農業に至るまで幅広いお話がありました。支援にあたって自然を守り活かすための学びの場や、技術を身につけるための丁寧な指導から地域づくりの大切さを伺い、参加者からは「農業支援の取り組みは、今課題である地域の活性化に通じるものがあり勉強になった」などの感想が出されました。講演後には、「ベトナムの魚醤と日本の魚醤の味比べなど」が行われました。

第2回山菜料理コンクール ～最優秀賞はワンタンスープ～



最優秀賞の料理
春天薫野菜雲吞湯～春かおる山菜ワンタンスープ～

6月4日、第2回山菜料理コンクール二次審査会がコミュニティプラザで開催されました。道内外から58人63件の応募があり、1次審査を通過した8名が、1時間の制限時間の中、オリジナルの山菜料理対決を繰り広げました。会場で調理映像を見守っていた来場者からは、出上がった洋風つくねやパスタなどの料理がテーブルに並べられると、感嘆の声が湧き上がりました。結果は、皮にヨモギを使った山菜ワンタンスープが最優秀賞に選ばれました。この料理は、今後星野リゾート・トマム内のレストランメニューとして提供されます。



「テレビ会議システム」で学校間の情報連携 ネットワーク授業始まる



情報通信技術（ICT）を活用した教育の一環として、占冠中央小学校とトナム小中学校に、インターネットを利用して両校をつなぐテレビ会議システムが設置されました。

6月8日に、修学旅行の事前学習として、両校でネットワーク授業が行われ、自主研修の内容を児童がお互いに発表するなど話し合いが行われました。

システム導入により、村内合同で開催される学校行事などの打ち合わせは、どちらかの学校に集まる必要がないので効率化が図られます。

今後は、教頭会議などの各種会議をはじめ、北海道大学遠隔授業や合同授業などでテレビ会議システムが活用されます。

むらびと条例をむらづくりに活かす むらづくり村民フォーラムを開催



むらびと条例について理解を深めるために、6月7日、むらづくり村民フォーラムがコミュニティプラザで行われました。

「むらびと条例をむらづくりにどのように活かすのか」をテーマに北海学園大学横山純一教授が基調講演を行った後、村担当者より条例の解説を行いました。

会場からは、「資料にもう少し詳しい説明を入れてほしい」という意見などが出され、解説書は手直し作業を経て、村内各世帯へ配布されます。

占冠村ガイドツーリング ～様々な体験を織り交ぜ モニターツアー開催～



6月5日、占冠村ガイドツーリング「ニニウの樹でクラフト体験ツアー」が行われました。この日は天候に恵まれ、快晴の中、サイクリングモニターツアーとして参加した14名が道の駅をスタートし、赤石青巖峡、ニニウキャンプ場までの走行距離約24kmのサイクリングを楽しみました。昼食後にはニニウキャンプ場でクラフト体験として、スプーン・フオーク作りが行われました。

主催する占冠村サイクルツーリズム推進実行委員会では、占冠の魅力発信するため、今後8月11日、9月10日～11日、10月5～6日にも、モニターツアーを予定しています。